第九十二号議案

例 江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条

右の議案を提出する。

平成二十四年十一月二十九日

提出者 江戸川区長 多田正見

江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例
 江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例（平成十一年十二月江戸川区条例第四十七号）の一部を次のように改正する。
 第一条中「あわせて」を「併せて」に改める。
 第三十二条中「よりがたい」を「より難しい」に改める。
 第三十三条中「あわせて」を「併せて」に、「よりがたい」を「より難しい」に改める。
 第四十四条（見出しを含む。）、「第四十五条、第四十六条並びに第五十一条第二項及び第三項中「あわせて」を「併せて」に改める。
 別表の一の表一の項から三の項までを次のように改める。

<p>一 一日平均十キログラムを超える量の家庭廃棄物を排出する占有者</p> <p>二 事業系一般廃棄物又は一般廃棄物と併せて処理する産業廃棄物を排出する事業者</p>	<p>一日平均十キログラムを超える量一キログラムにつき 三十六円五十銭</p> <p>一日平均十キログラムにつき 三十六円五十銭</p> <p>ただし、有料ごみ処理券を添付して排出するときは、十リットルまでごとに 六十九円</p>
<p>三 臨時に排出する占有者又は事業者</p>	<p>一キログラムにつき 三十六円五十銭</p> <p>ただし、粗大ごみについては、二千五百円</p>

を限度として品目別に規則で定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、平成二十五年十月一日（以下「施行日」という。）から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例（以下「新条例」という。）別表の一の表三の項ただし書の規定は、区長が施行日以後に、占有者に係る粗大ごみの収集、運搬及び搬入の申込みを受けた場合の廃棄物処理手数料から適用し、施行日前に当該申込みを受けた場合の廃棄物処理手数料については、なお従前の例による。

3 この条例による改正前の江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第五十三条第一項の規定に基づき交付した有料ごみ処理券については、施行日以後一月の間は、新条例第五十三条第一項の規定に基づき交付したものとみなす。

(説明)

いたします。廃棄物処理手数料を改めるほか、規定を整備する必要があるもので、本案を提出